



ホームページをご覧ください、誠にありがとうございます。
本校は、明治42年に松山市立工業徒弟学校として開校され、当初は家具科、造家科の2学科が設置されていました。その後幾多の変遷を経て、現在は、機械科、電子機械科、電気科、情報電子科、工業化学科、建築科、土木科、繊維科の八つの学科が設置されています。

令和7年度は全校生徒942名でスタートし、校内は活気にあふれ、一人一人が目標を持って勉学に励んでいます。これまでの卒業生は3万名を超えており、県内外の産業界をはじめ全国各地の幅広い分野で多くの方々が活躍され、在校生の活動も応援していただいています。

本校は、グランドデザインとして「次代を担う心豊かなT型人財の育成」を掲げています。T型人財というのは、幅広い知見・知識・技術等、基盤となるものをしっかりと身に付けた上で、一つの分野における高い専門性、つまり特定分野の秀でた能力を身に付けている人のことです。また、生徒のみなさんは次の時代を担うかけがえのない存在であることから、人材の「材」を「財」としています。

高校生活での「T型人財」に向けた活動とは、学習活動や学校行事、部活動など、様々なことにしっかりと取り組み、基盤となることを十分に身に付けた上で、ものづくりや文化・スポーツ、資格・検定など、何か一つ自分の得意分野を見つけて懸命に取り組み、その分野を極めていくということになります。

現在は、グローバル化が進み変化の激しい予測困難な時代を迎えており、このような時代だからこそT型人材が必要といわれています。現在の社会では、自ら考え主体的に判断して行動し、前へと進んでいくことが大切です。また、技術を融合させて新たなものを創り上げたり、専門分野と異なる分野を結び付けて創造性のあるアイデアを生み出したりすることが求められています。これらのことはT型人材が得意とされていることなのです。

さらにもう一つ、どんなときも大切にしてほしいのが温かい思いやりの心です。学校生活では、楽しいことや嬉しいことと共に、しんどいことや苦しいこともあると思います。日々の学校生活では色々なことがあります、どんなときもお互いが思いやりの心を大切にして、協力しながら学校生活を送ることが大切です。そしてそのことが、人間的な成長へとつながると考えています。

本校のグランドデザインは、これらのことを踏まえて掲げています。温かい思いやりの心や、基礎・基本を身に付けた上で専門性を高めることはとても大切なことで、生徒のみなさんが将来社会に出たときに必ず役に立つと信じています。

これからも生徒のみなさんの、夢の実現や目標の達成に向けて尽力するとともに、地域の皆様に愛され、信頼される学校づくりに努めてまいります。保護者の皆様や地域の皆様におかれましては、今後も本校の教育活動に、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

令和7年4月

愛媛県立松山工業高等学校長 宮地 洋安